

群馬県みなかみ町とのなかの里・まち連携について

区では、地方の都市と大都市（中野区）の両者が、お互いの強みを生かして弱みを補うことによって課題の解決を目指し、豊かで持続可能な地域社会をつくるための取り組みとして、現在4自治体となかの里・まち連携を推進している。

その一方、里の資源の充実を図るといった観点から、新たな自治体との連携についても検討してきたところであり、群馬県みなかみ町については、同町の持つ様々な資源等が本事業の推進に十分に資すると判断したため、連携自治体とすることとした。

1 みなかみ町を連携自治体として選定する理由

(1) 豊富な資源

① 豊富な観光・体験交流資源

豊富な自然資源や体験メニュー、伝統工芸に関する体験施設など、観光・体験交流事業の充実を図ることができる。

② 特色ある経済交流資源

特産品として、乳製品や果物、果物の加工品、川のり、漬物、キノコといった食材や木工細工などがある。また豊富な水資源は経済交流としての資源のみならず、防災面での交流資源としても期待できる。

③ 環境交流のフィールドとしての活用可能性

市民レベルでの森林保全活動や利根川の源流域としての5つのダムを設置など、里山保全や水源かん養といった環境保全意識の醸成の観点から、環境交流のフィールドとしての活用可能性が高い。

(2) 交通利便性

町内に上越新幹線上毛高原駅や関越自動車道水上インターチェンジの立地があり、中野区から直線距離で約135km、新幹線で2時間、車で2時間半の所要時間など、交通利便性が高い。

2 今後のスケジュール（予定）

9月中旬 連携宣言

10月下旬 区民参加による観光・体験交流モデル事業実施